

みんなで考え、実行する

「鎌ヶ谷市行財政改革推進プラン（改訂版）」

～自律的・主体的で実効性のある行財政改革～

令和2年度の実績について

1 計画の策定趣旨

少子高齢化・人口減少の進展、地方分権の推進、社会経済状況の変化など市を取り巻く環境が大きく変化していく中で、将来にわたって安定した行政サービスが提供できる体制や仕組みを構築していくために、引き続き、行財政改革に取り組んでいく必要があります。このため、～みんなで考え、実行する～「鎌ヶ谷市行財政改革推進プラン（改訂版）」（令和元年度・令和2年度）を策定しました。

2 推進方法

計画の推進にあたっては、職員の目的意識の醸成を図るとともに、職員一丸となって取り組む必要があるため、行財政改革推進室内に設置しているサポートデスクの活用やPDCAサイクルの検証、車座集会を開催します。

また、行財政改革のコンセプトとして、前計画の「みんなで考え、実行する行財政改革」を継承するとともに、新たなテーマとして「自律的・主体的で実効性のある行財政改革」を設定し、目標達成に向けて取り組んでいます。

3 計画の柱と取組み項目

計画には、「①歳入増のための取組み」、「②歳出抑制のための取組み」、「③変化に対応できる行財政体質構築のための取組み」の3つの柱を掲げており、それぞれの柱ごとの取組み項目及び計画に掲げた計画期間中（令和元年度・令和2年度）の見込まれる効果額の目標は次のとおりです。

柱	取組み項目	効果額の目標(2年間)
柱①歳入増のための取組み	16の取組み	2億4千万円以上
柱②歳出抑制のための取組み	17の取組み	8千万円
柱③変化に対応できる行財政体質構築のための取組み	18の取組み	—
全体	51の取組み	3億2千万円以上

4 令和2年度における達成状況

(1) 数値目標に対する実績

	目標	実績	状況
① 行財政改革効果額	198,663 千円	524,757 千円	達成
② 経常収支比率	95%未満	95.2%	未達成
③ 財政調整基金残高	18 億円以上	1,747,269 千円	未達成
④ 財政健全化判断比率	早期健全化基準未満	早期健全化基準未満	達成

(2) 行財政改革効果額の詳細

No	柱	取組み項目	目標	実績
2	①	市税の収納率向上	117,512 千円	329,607 千円
3	①	国民健康保険料の収納率向上	21,742 千円	45,484 千円
5	①	放課後児童クラブ保護者負担金の収納率向上	121 千円	0 千円
6	①	介護保険料の収納率向上	3,574 千円	25,203 千円
7	①	公共下水道料金の収納率向上	2,280 千円	44,126 千円
9	①	手数料・使用料の見直し	5,000 千円	0 千円
10	①	未利用地の売却促進と有効活用	3,120 千円	0 千円
13	①	デジタルサイネージの導入	3,680 千円	3,848 千円
16	①	市ホームページへの有料広告の掲載	540 千円	120 千円
25	②	時間外勤務の抑制	40,000 千円	76,369 千円
33	②	公園、緑地の樹木伐採・剪定に伴う幹や枝のチップ化(可燃ごみの縮小)(事業終了)	1,094 千円	—
合 計			198,663 千円	524,757 千円

(3) 財政健全化判断比率の詳細

令和2年度財政健全化判断比率

区分	国が定める 早期健全化基準(%)	鎌ヶ谷市実績(%)
①実質赤字比率	12.52	—(赤字なし)
②連結実質赤字比率	17.52	—(赤字なし)
③実質公債費比率	25.0	4.3
④将来負担比率	350.0	32.1

5 計画期間の数値目標に対する達成状況

計画に掲げた数値目標のうち、「行財政改革効果額」については、期間全体の実績が計861,098千円で、目標額である「324,110千円」を上回る結果となりました。

区 分		R01	R02	期間全体
行財政改革 効果額	目標	125,447 千円	198,663 千円	324,110 千円
	実績	336,341 千円	524,757 千円	861,098 千円
	達成状況	達成	達成	達成
経常収支 比率	95%未満	96.2% (97.9%)	95.2% (97.3%)	—
	達成状況	未達成	未達成	—
財政調整 基金残高	1,800,000 千円以上	2,497,066 千円	1,747,269 千円	—
	達成状況	達成	未達成	—
財政健全化 判断比率	早期健全化 基準未満	基準未満	基準未満	—
	達成状況	達成	達成	—

※経常収支比率欄の括弧書きの数値は、実際の経常収支比率の値

6 計画期間（令和2年度）の取組み結果について（全50項目）

《全体評価》

令和2年度における50の取組みに関する全体評価は、次の表のとおりです。

※柱41 プロジェクトマネージャーは令和元年度に終了したため除外しています。

区分	評価区分	取組み項目数	備考
1	終了	1	完了し、終了する
2	廃止	1	計画期間内における検討を終了
3	休止	0	計画期間後の再開を前提に休止
4	縮小	1	規模を縮小
5	改善	1	実施方法等を改善し継続
6	精査・検証	38	実施内容を精査・検証し継続
7	拡充	8	重点的に資源等を配分し規模拡大

①終了とした取組：1項目

頁	柱	取組み項目名	評価の理由
36 37	②	防犯灯・道路照明灯のLED化 (安全対策課・道路河川管理課)	LED灯交換工事が完了したため。

②廃止とした取組：1項目

頁	柱	取組み項目名	評価の理由
38	②	公園、緑地の樹木伐採・剪定に伴う幹や枝のチップ化(可燃ごみの縮減) (公園緑地課)	検討した結果、歳出の抑制に繋がらないことが判明したため。

③縮小とした取組：1項目

頁	柱	取組み項目名	評価の理由
55	③	情報システムの調達、維持、更新の適正化 (総務課情報推進室)	ADサーバリプレイス及びグループウェアクラウド化が完了したため。 なお、情報システム調達時の見積チェック体制については、必要に応じて随時見直しを行う。

④改善とした取組：1項目

頁	柱	取組み項目名	評価の理由
12	①	企業誘致の推進 (商工振興課)	旧第二学校給食センター及び旧トレーニングセンター跡地における企業誘致の促進を図るため、積極的に契約管財課と連携するとともに、庁内の担当者情報共有会議の定期的な実施や、金融機関等との更なる連携強化を進めていくため。

⑤拡充とした取組：8項目

頁	柱	取組み項目名	評価の理由
2	①	市税の収納率向上 (収税課)	収納率向上のため、ピピットリンク (預貯金照会電子化サービス)を活用し、速やかに換価性の高い財産の差押に着手し、早期の完納を目指すため。
3	①	国民健康保険料の収納率向上 (保険年金課)	収納率向上のため、文書催告、短期証、モバイルレジクレジット等を活用するため。
6	①	介護保険料の収納率向上 (高齢者支援課)	収納率向上のため、コンビニ収納に加え、実態調査、滞納処分を強化するため。
10	①	未利用地の売却促進と有効活用 (契約管財課)	令和2年度売却予定地のプロポーザルが不調に終わったため、売却方法の検討を行うとともに、新たな売却可能地を選定するため。
13	①	デジタルサイネージの導入 (企画政策室)	デジタルサイネージの歳入額の向上を図るため、新たな導入先について検討するため。
15	①	ふるさと納税制度の活用 (財政室)	ふるさと納税制度を活用した歳入確保、鎌ヶ谷市の魅力発信および地域産業の活性化を目的に、ふるさと納税事務を委託化するため。
20	②	民間活力の導入・推進 (企画政策室)	業務の負荷軽減・効率化を図ることを目的にAI-OCRを本格導入するとともに、対象業務の拡大を促進するため。
34	②	施設の維持管理に係る長寿命化 (契約管財課・建築住宅課・企画政策室)	公共施設等の長寿命化を推進するとともに、大規模改修等の平準化方法を検討するため。